



学校だより 1月号

市田っ子

令和6年12月24日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱい学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

市田小HP→



言葉の力

校長 森 洋子

先月の修学旅行では6年生の、場面に応じた最高学年らしい行動力と団結力を、親善タグラグビー大会では、5年生の生き生きとした活躍が光りました。持久走記録会では、どの子も自分の記録との勝負をし、誰かと比べてではない、本当の意味での「自分自身との闘い」をすることができました。どの行事も、個々の成長が見られ、お互いを称え合う姿に、行事を通して味わう事の大きさを実感した1ヶ月となりました。

この9ヶ月、子供たちの様々な成長、素晴らしい持ち味を存分に感じて生活してきました。反面、「話す力」「書く力」が伸び悩んでいる、とも感じています。そこで今年、市田小学校では学校研究で、授業の中に「学び」と「しかけ」を準備して子供たちの前に立とう、と決め、取組んでいます。現在進行中です。この取組の1つ「言葉・文字にして自分の思いを表すこと」を大切に生活してきました。授業の中では主に「振り返り」を通してその時間で学んだ事を書く活動を書いています。その他、行事を通して自分の目標や友達のがんばり、よい所を文字にして表す活動で充実を図っています。また、後期からは「いちぼん作文」をスタートさせました。子供たちの言葉は日を追うごとに増えています。うれしい成長です。



「書くこと」＝「考えること(思考)」だと考えています。「書くこと」は、自分が考えていることを自分の世界だけで表現できます。会話であれば、相手がいるので、その雰囲気流されることがありますが、**文章を書くのは自分**です。他人に影響されず、思いや考えを書き、自分を見つめることができます。この**言葉の力・自分を表現する術(すべ)**(語彙力)は、小学校の6年間で大きく大きく育ちます。そのために必要なのが「体験」。それを「言葉」にすること、です。

例えば、幼児期は現実世界のものを見たり聞いたり触ったりして、それに関連する言葉を覚えます。虫が好きな子なら、透き通った羽を持ち、ミンミンと鳴く虫はミンミンゼミだと知り、ツクツクボウシもアブラゼミも同じゼミの仲間だと知る。目に見えない感覚についても、走って転んで食べて感じて、痛い、熱い、おなかすいたなどと覚えていきます。ですから市田小学校では語彙力を伸ばす近道は「体験」を増やすこと、学習、経験の中から五感をいっぱい使って、自分の知らない世界を知ることが大事だと考えています。そして感じたことを「言葉」にし、その言葉を存分に使う機会をつくる事。そして傍にいる大人がそれをじっくりと聴いてあげる事。この繰り返しが子供たちに言葉の力をつけるのだと考えています。



思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから

マザーテレサの遺した言葉の中に、右のような言葉があります。こう考えると、私たちの生活に「言葉」は**欠かせません**。学びの中で言葉を増やし、「**言葉を使う**」時、それが**自分**

や友達の励ましに繋がるのだとすれば、気持ちのよい言葉を選びたい。「言葉を書く」時、それが自分の考え・行動に繋がるのならば、自分や友達を勇気づけるために書きたい。子供達も、教職員もそうありたいと思います。学校では「できない」「だって」…から抜け出し、自分を肯定し、プラスの言葉で生活していく子を育てたい。「言葉の力」を大事に、子供たちの言葉を増やし、心を育てる取組を行なっていきたい、そう考えています。

この冬休み、ご家庭では、大事な人のためや、目標に向かう子供達のがんばりを見つけ、勇気づける言葉をたくさんかけてあげてください。**かけてもらった言葉は、自信となり、新しい年へのやる気へと必ず、つながります。**私達教職員は、やる気に溢れる子供達が、「学校がすき！」と言って安心して通ってもらえる学校を目指し、来年も心を尽くし、一緒に活動していきます。保護者の皆様、1年間、本当に多くのお力添えを頂きありがとうございます。素敵な新年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお願ひします。

学校教育目標 **い**き生きと**学**び **ち**から**い**っぱい活動し **だ**れと**で**も仲良**く**

持久走記録会 ～自分自身との闘い、自分に勝つために～

11月28日(木)に持久走記録会が行われました。「決められた時間内にどれだけ走れるか」自分との闘いです。元世界記録保持者のエリウド・キプチョゲ選手は「勝つことより勝つための準備がはるかに大事。何に勝つ?もちろん自分に」と言葉を残しています。今年度は、体育の時間だけでなく、朝の時間に校庭を走ったり、業間休み・昼休みに走るなど、自分に勝つための準備をしている児童がたくさん見られました。当日は、穏やかな天気の中、真剣な眼差しで走る子供たちの姿が光り輝いていました。ご多用の中、温かなご声援をいただきありがとうございました。



スポーツの力 ～タグラグを通して友情を育みました～

12月5日(木)に5年生が、吉見小学校との親善タグラグビー大会を行いました。天候にも恵まれ、スポーツを通して友情を育むことができました。卒業後には、大里中学校で一緒に学ぶことになる、未来のクラスメート同士で、親睦を深めました。



遊びの中に学びがある ～おもちゃランド～



12月6日(金)に1・2年生が生活科の学習で「おもちゃランド」を行いました。自分たちで作成した手作りのおもちゃを互いに遊び合いました。子供たちは、遊びを通してたくさんのことを学んでいます。